

# 郷土を愛する子どもたちを育てる

～人と人とのつながりを大切にする地域～

【宇部市 上宇部中学校区】

## 地域の概要

上宇部中学校区は、宇部市のほぼ中央部に位置し、上宇部小学校区と琴芝小学校区からなっています。校区内には、山口大学工学部や宇部工業高等専門学校などの高等教育機関をはじめ、公立・私立高等学校があり、神社・仏閣など郷土の文化遺産や資料も豊富で、教育環境に大変恵まれています。

人口	24,857人	
世帯数	12,448世帯	
対象校及び 児童生徒数	上宇部中学校	477人
	琴芝小学校	405人
	上宇部小学校	658人

※琴芝小学校は約7割が上宇部中学校に入学

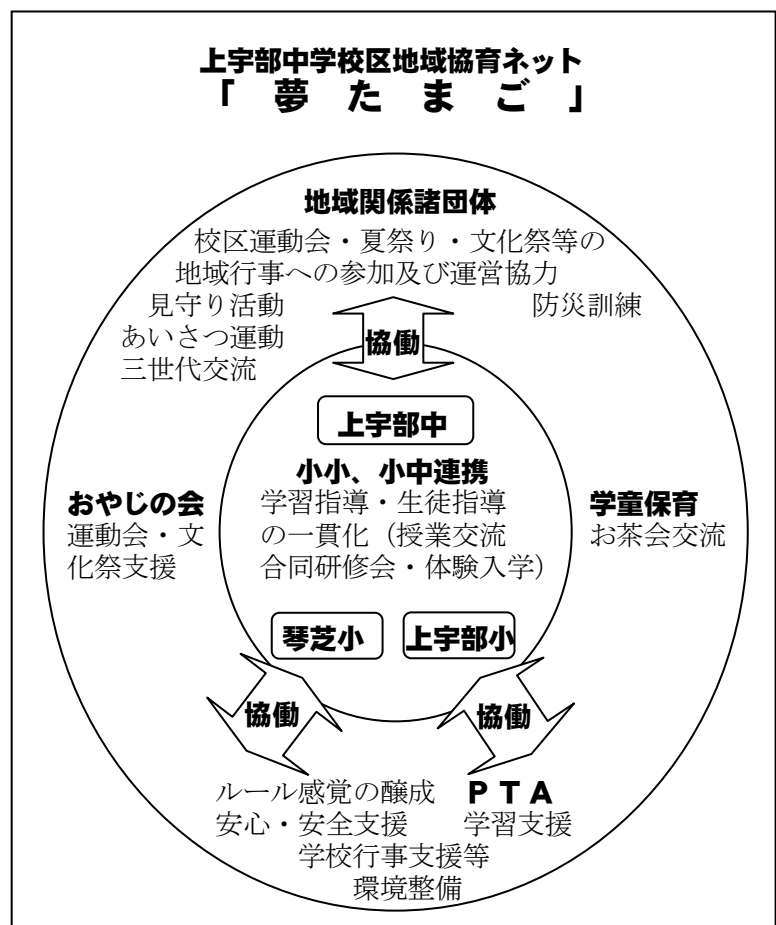
## 組織の内容

上宇部小学校では、本年度、学校運営協議会が設置され、琴芝小学校、上宇部中学校では来年度の設置に向けて研究に取り組んでいます。

「うべ協育ネット」の推進母体として、「開かれた、信頼される学校」をより実現させるため、「夢たまごネット推進委員会」を組織しました。

この「夢たまごネット推進委員会」は、学校関係者、地域関係者、コーディネーター、行政の13人で構成されており、学期に1回会議を行っています。

琴芝、上宇部の両小学校区のコミュニティの活動状況や課題などを話し合うことで情報共有を図り、小学校区を超えた中学校区内でのゆるやかなコミュニティづくり、しっかりしたネットワークづくりを推進しています。



## 特色・重点的な取組

「夢たまごネット」の推進コンセプトは、「連携・参画・貢献・協働」です。

学校支援で地域の方に学校に入ってもらっただけでなく、学校や児童生徒が地域行事に参画し、地域に貢献する取組も推進しています。地域に貢献することで、地域の一員であることの自覚を促すとともに、生まれ育った地域への愛着をもつことを目標としています。

また、コーディネーターや夢たまごサポーターが自由に集まり、連携や協働の在り方について話し合うことのできる「夢たまご室」を上宇部中学校に設置しました。



夢たまご室

## 主な活動の紹介

### 【自主防災会と連携した避難訓練】

上宇部中学校では今年度からの試みとして、両小学校区自主防災会と連携した避難訓練を実施しています。今回は地震津波を想定した避難訓練で、自主防災会から指導と訓練の評価をしていただきました。「まずは自分の命を守ることが大切である」という指導や「地域の一員としてどんなことを中学生に期待するか」という話を生徒は真剣に聞いていました。

### 【地域行事への参画】

両小学校区で行なわれている校区文化祭や運動会などの行事に多くの中学生が参加し、会場を盛り上げました。今年度の上宇部小学校区の夏祭りには、「盛り上げ隊」として準備の段階から生徒が参加し、スタッフとしてステージのプログラム進行などに携わりました。生徒にとって、地域の方との交流はもちろん地域行事の運営にかかわることは、成長につながる良い機会となっています。

### 【放課後子ども教室】

両小学校区とも放課後子ども教室を実施しています。

琴芝小学校区では、夏休みの間、「夏休み子どもお楽しみクラブ」として、ふれあいセンターで実施している12講座に子どもたちが参加しています。子どもたちは、生け花や囲碁、習字教室などで参加し、地域の方の指導を受けています。「地域の先生」に教えてもらっている子どもたちは、とても生き生きと目が輝いていました。

上宇部小学校区では、6月から毎週水曜日に地域の方々の協力を得て、「チキチキによって帰ろう（放課後の学習会）」を実施しています。初めての試みであり、10月に終了する予定でしたが、子どもたちの希望もあり、2月まで延長することにしました。3年生から6年生までの子どもたちが仲良く宿題や折り紙などをし、時には上級生が下級生に教えるなど、異年齢の交流も深まっています。



避難訓練 ～上宇部中～



生け花教室 ～琴芝小～



学習会 ～上宇部小～

## 成果と課題

小・中学生が地域行事に参加することは地域の活性化につながっています。児童生徒にとっても地域の方との交流や地域行事への参画により、様々な経験を積んで成長することができ、また地域への愛着を育む良い機会であると考えています。今後、学校と地域の連携が更に必要となり、そのためのコーディネーターの活躍がますます期待されます。

## 今後の取組

小学校と中学校の間で、学校支援のボランティアの方が相互に行き来できるような仕組みづくりをしていきたいと考えています。夢たまごネット推進委員会では、「夢たまごネット」が機能するよう、小小連携、小中連携はもとより、地域同士の情報交換を密にしてWin-Winの関係を創り上げていきます。